

東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕  
大和証券フェニックスジャパン・プログラム 2015  
－被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成－

**実施報告書**

(2015年10月～2016年9月)

2017年4月3日

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター  
特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

## 1. プログラム概要

●本プログラムは、大和証券株式会社に「ダイワ・ニッポン応援ファンド Vol.3ーフェニックスジャパンー」の信託報酬の一部をご寄付いただき、認定特定非営利活動法人日本NPOセンターが「東日本大震災現地NPO応援基金」の特定助成として、特定非営利活動法人市民社会創造ファンドと協力して実施しています。

●東日本大震災の復興支援（被災者の生活再建等の支援）のため、NPOの果たす役割には、大きな期待が寄せられています。しかしその組織基盤は未だ弱く、必要な支援を自力で安定的に供給するためには組織の基盤強化が必要であり、特に適切な人材の確保と育成が不可欠です。このプログラムではそのような人材を雇用から支援し育成することで、被災者の生活再建への寄与を願うものです。

### ●プログラム概要

- ・プログラム名 東日本大震災現地NPO応援基金〔特定助成〕  
大和証券フェニックスジャパン・プログラム
- ・テーマ 被災地の生活再建に取り組むNPOの人材育成
- ・助成対象 岩手県、宮城県、福島県等において被災者の生活再建を長期的視点で支援する「現地NPO」
- ・実施期間 2012～2016年（予定）
- ・助成方法 公募助成（毎年1回の公募）
- ・助成期間 1年間（10月～翌年9月）
- ・助成額 1件あたりの助成額：新規助成 500万円、継続助成 400万円  
年間助成総額 3,500万円程度
- ・助成実績 2012年 3,100万円（新規助成 7件 2,950万円、  
合同研修助成 150万円）  
2013年 3,503万円（新規助成 5件 1,860万円、継続助成 4件 1,493  
万円、合同研修助成 150万円）  
2014年 3,210万円（新規助成 7件 2,325万円、継続助成 2件 685  
万円、合同研修助成 200万円）  
2015年 3,680万円（新規助成 6件 2,489万円、継続助成 3件 941  
万円、合同研修助成 250万円）  
2016年 2,407万円（新規助成 3件 1,080万円、継続助成 4件 1,327  
万円）

## 2. 2015 年助成プログラムの経過と結果

### (1) 2015 年助成プログラムの経過

2015 年助成は、2015 年 10 月に助成を開始し、2016 年 9 月に 1 年間の助成期間を終了した。対象団体は 9 団体・対象スタッフ 12 名であった。

この間事務局は、主なフォローアップとして育成レポート（4 回／3 カ月毎）や完了報告書の取り纏め、中間インタビュー、合同研修会(2 回)の実施に加え、適宜相談対応を行った。なお、助成期間中にスーパーバイザーの交代が 2 名あり対応した。また対象スタッフ 1 名が退職したため、1 団体は助成期間中に助成を終了した。

#### <2015 年助成対象一覧>

【新規助成】 6 件／助成額：2,489 万円

No.	プロジェクト名	団体名	所在地	金額 (万円)
1	共育プログラムの発展と継続のための基盤づくりとその担い手となる若手スタッフの育成	一般社団法人 おらが大槌夢広場	岩手県 大槌町	492
2	被災地の障がい者、要介護高齢者等の持続的支援のための運営管理者養成	特定非営利活動法人 愛ネット高田	岩手県 陸前高 田市	270
3	被災地の障がい児を楽しく療育するイベントの企画力向上のための若手スタッフ育成	特定非営利活動法人 奏海の杜	宮城県 南三陸 町	387
4	被災地の女性による起業と事業継続の支援力向上のためのスタッフ育成	特定非営利活動法人 ウイメンズアイ	宮城県 登米市	461
5	被災地で暮らす障害者の素敵な生き方・はたらき方を支援する人材育成	特定非営利活動法人 ポラリス	宮城県 山元町	420
6	線量が高い地域における発達障がい児サポートの支援力向上のためのスタッフ育成	特定非営利活動法人 みんなのひろば	福島県 伊達市	459

【継続助成】 3 件／助成額：941 万円

No.	プロジェクト名	団体名	所在地	金額 (万円)
1	被災地における若者定住者創出のための若年無業者支援の専門家育成（2）	一般社団法人 SAVE TAKATA	岩手県 陸前高 田市	298
2	浦戸寒風沢コミュニティハウスの管理業務を担う農業指導員の育成（2）	特定非営利活動法人 浦戸アイランド倶楽部	宮城県 塩竈市	325
3	障がい児者家族支援サポートのための専門スタッフ育成事業（2）	特定非営利活動法人 ふよう土 2100	福島県 郡山市	318

## （２）2015 年助成の結果

2015 年助成による助成団体数は 9 団体で、育成対象スタッフは 12 名であった。事務局長 5 人、中堅スタッフ 2 人、若手スタッフ 5 人の育成が行われた。

主な育成方法は、団体の中核となる事業に関するスキルや事務局長としてのスキルを上げるために、OJT を基本としながら活動現場での実践研修や外部研修、または総務・経理に関する講座受講が目立った。

成果としては、事業推進のための体制が整い、育成対象スタッフ自らが企画・運営を行うまでの成長をみせたり、事務局の強化をはかることができ、事業計画やサービス事業の手続きの効率化が図れるようになったなどが挙げられる。また、若手のスタッフ育成においては、力量形成が行われるとともに、スタッフを育成することについて話し合いが持たれるなど、団体内で人材育成の意識付けがなされた例もあった。

現在、被災地域は復興期となり、震災をきっかけとはしながらも、地域にもともとあった課題の対応や地域づくりに取り組む NPO が増えてきている。本プログラムの助成対象である現地 NPO も、「震災」という支援の枠が取れつつある中で、自らのミッションを見直し、自主事業をいかに組み立てて推進していくのか、もしくは制度事業を進めるのか否かを考えなければならない時期にきている。

「組織の中核となるスタッフの育成」という趣旨をもつ本助成プログラムは、まさに時節に合ったものと考えられる。ただし、助成の時期や周知の面においては、引き続き検討が必要な段階である。今後も、人材育成を必要とする現地 NPO のニーズを踏まえた形でプログラムを成長させていきたい。

2015 年助成による各団体のスタッフ育成の結果は以下の通りである。

### 【新規助成】

#### ●一般社団法人 おらが大槌夢広場

「共育プログラムの発展と継続のための基盤づくりとその担い手となる若手スタッフの育成」 （育成対象スタッフ 2 名／ツーリズム事業担当、会計経理・労務管理担当）

#### 団体の概要

震災により甚大な被害を受けた大槌町において、観光、商工、農水産業の発展と、それらの担い手である大槌町民の生活再建に寄与することを目的に設立。地域の雇用を生み出す「大槌復興食堂」などを実施し、現在は、大槌に関心を持つ人たちが地域に関わり続けるための交流事業「共育プログラム」を中心に行っている。

#### 助成によるスタッフ育成内容と方法

今回の事業では、「共育プログラム」の企画・運営を担うスタッフと、団体の事業計画、資金計画、経理等の総務を担当するスタッフ、2 名の育成を行った。前者は、県内外の若者グループの誘致活動について、スーパーバイザーの OJT による実地研修を行った。後者は、スーパーバイザーによる OJT と会計や労務管理について随時研修会に参加し知識を深めた。

#### 成果と課題

「共育プログラム」の担当スタッフについては主体的に業務に取り組む姿勢がみられ、基本的な誘致受入れ業務を担えるようになった。また、総務担当スタッフについては、経理や労務管理をほぼ一人で実践できるようになった。また、他のスタッフとも育成について話し合いが持たれる中で、スタッフ全員で団体の事業計画や資金計画を作り上げることができた。今後は、さらに対象スタッフが主体となり事業の質を高めるため実践を積み重ねていく。

- ・代表者: 代表理事 臼沢和行
- ・所在地: 岩手県大槌町
- ・設立年: 2011 年
- ・活動地域: 岩手県大槌町
- ・<http://www.oraga-otsuchi.jp/>



## ●特定非営利活動法人 愛ネット高田

「被災地の障がい者、要介護高齢者等の持続的支援のための運営管理者養成」  
(育成対象スタッフ 1名/団体運営管理者)

### 団体の概要

震災後、公共交通機関での移動が難しい障がい者や要介護者等に対する車輦での移動支援活動を実施。また、介護保険事業として居宅および訪問介護事業を行っている。

### 助成によるスタッフ育成内容と方法

震災により中核的な人材を失ったことから、法人事業運営の要となる福祉専門職員を経営能力を持ち合わせた運営管理者へと育成した。OJTによる法人運営や財務等の職場内研修と、総務・会計や労働環境改善のため産業カウンセラーの知識を学ぶ外部研修を行った。

### 成果と課題

全体的な法人や事業運営を実践しながら学ぶことにより、基礎的な運営能力を身につけることができた。それによって他の事業担当者の業務負担が軽減され、各サービス利用者の増員やサービスの質の向上につながった。今後も引き続き、人事管理や財務管理能力を高めるためのスキルアップをはかっていく。

- ・代表者:代表理事 岡本幸子
- ・所在地:岩手県陸前高田市
- ・設立年:2002年
- ・活動地域:岩手県陸前高田市及び近隣市町村
- ・<http://ainet-takata.com/>



## ●特定非営利活動法人 奏海の杜

「被災地の障がい児を楽しく療育するイベントの企画力向上のための若手スタッフ育成」  
(育成対象スタッフ 1名/障がい児療育専門スタッフ)

### 団体の概要

震災後から避難所や仮設住宅、在宅の障がい者支援を行ってきた。現在は放課後等デイサービスおよび相談事業所「にこま〜る」の運営、在宅日中一時支援事業を行いながら地域交流の場づくりを行っている。

### 助成によるスタッフ育成内容と方法

障がい児・者が地域で自立的に生活していくためには、地域との連携が必須であるという考えのもと、障がい児・者の療育や支援を加味した地域交流イベントの企画運営ができる人材の育成に取り組んだ。他所でのイベント参加によるOFF-JT、障がい特性の理解促進のため発達支援コーチの講座の受講と、最後に自身でイベントを企画立案する実地研修を行った。

### 成果と課題

イベントについては、これまで代表が一人で担ってきたところを、ある程度チームによる取り組みが可能となった。また、企画会議を開くことにより支援対象者の現状を複数の職員で共有でき、より現状に合ったイベントを実施することができた。また、対象スタッフの育成を通じて他の職員との話し合いが増え、相互理解につながった。今後は事業の拡大にともない、必要とされる団体内でのチームワークやマネジメントに力を入れていく。

- ・代表者:理事長 太齋京子
- ・所在地:宮城県南三陸町
- ・設立年:2011年
- ・活動地域:宮城県南三陸町、気仙沼市、登米市
- ・[http://blog.canpan.info/hsc\\_kenpoku/](http://blog.canpan.info/hsc_kenpoku/)





## ●特定非営利活動法人 ウィメンズアイ

「被災地の女性による起業と事業継続の支援力向上のためのスタッフ育成」  
(育成対象スタッフ 2名/事務局長、パン・製菓製造スタッフ)

### 団体の概要

女性が自らをいかし元気に活躍できる場の創出を目的として、主に宮城県南三陸町、気仙沼市、登米市の女性たちのコミュニケーションの場づくり、女性グループの地域活動支援や手しごと・起業・事業継続支援などを行っている。

### 助成によるスタッフ育成内容と方法

これまでの助成金や補助金を中心とした財源構造から、自主事業を中心とした持続可能な状態に移行すべく、組織を支える事務局長と、食ビジネスの事業化に携るパン・製菓製造スタッフの育成に取り組んだ。前者については、資金調達の際に必要なプレゼンテーション力やファシリテーション力の強化のために外部研修や会計の実地研修を行った。後者については、アレルギー対応食や食品衛生管理の知識を得るためEラーニングの実施や講習会を受講した。

### 成果と課題

事務局長については、安定した事業運営のために必要な会計や資金調達の知識と技術を得ることができ、新たな食ビジネスの計画づくりにその経験を活かすことができた。またパン・製菓の製造スタッフについては、習得した技術を活かした料理教室を開催することができた。助成終了後、パン・菓子工房の新設を目指しファンドレイズを実施し、2017年2月に開業した。

- ・代表者: 代表理事 石本めぐみ
- ・所在地: 宮城県登米市
- ・設立年: 2011年
- ・活動地域: 宮城県南三陸町、登米市、気仙沼市
- ・<http://womenseye.net/>



## ●特定非営利活動法人 ポラリス

「被災地で暮らす障害者の素敵な生き方・はたらき方を支援する人材育成」  
(育成対象スタッフ 1名/事務局長)

### 団体の概要

宮城県山元町において、障害者支援を専門とする唯一のNPOとして設立。障害者の社会参加を促進するため、障害者の就労支援事業においては、特にアート活動によるものづくりや、障害のあるなしに関わらず参加できる表現活動などを行う。

### 助成によるスタッフ育成内容と方法

2015年に立ち上がったばかりの団体であるため、事務局体制の整備が急がれた。そのため、育成対象スタッフは、事務局長としてのスキルを獲得すべく、会計、税務、労務管理についての専門家による指導を受けたり、障害者福祉の専門性を高めるため他の先進事例を訪問するなどの研修を行った。

### 成果と課題

会計、税務、労務については、一通りの学びを得ることが出来、団体としての初年度の総会において無事に事業報告・決算報告をすることができた。また、日々の業務について必要時には随時ミーティングを重ねることにより、各スタッフの役割分担ができるようになった。その後、同団体は新たなスタッフを迎え、さらに業務分担の明確化とスタッフ間の相互理解を進めている。

- ・代表者: 代表理事 田口ひろみ
- ・所在地: 宮城県山元町
- ・設立年: 2015年
- ・活動地域: 宮城県山元町
- ・<http://polaris-yamamoto.com/>



## ●特定非営利活動法人 みんなのひろば

「線量が高い地域における発達障がい児サポートの支援力向上のためのスタッフ育成」  
(育成対象スタッフ 2名/児童福祉・障がい児教育の専門スタッフ)

### 団体の概要

福島県伊達市において、フリースクール事業を行っている。震災で団体事務所が被災し、現在の場所に移転。フリースクールの児童生徒のうち多くが発達障がいと診断され、特性に応じたサポートに取り組んでいる。

### 助成によるスタッフ育成内容と方法

団体の新規事業として放課後等デイサービスを立ち上げるため、2名の育成対象スタッフに対して、児童福祉・障がい児教育の専門性を高める育成を行った。OJTによるケース会議への参加、他地域の児童養護施設への1週間程度の実務研修、最後に理事会において研修内容の報告を行った。

### 成果と課題

育成対象スタッフの両名とも福祉についての学びや実践の経験がない中で、様々な学びと実践を積み、これまでの補助的な立場から1人のスタッフとして、組織の中で役割分担をしながら子どもたちと関わるようになった。また、1名は、サービス事業の開始に必要な児童発達管理責任者の資格を取得でき、新たな事業基盤整備につながった。今後、育成対象スタッフは、新たな施設運営の中核スタッフとしての役割が求められる。

・代表者:理事長 齋藤大介  
・所在地:福島県伊達市  
・設立年:2004年  
・活動地域:福島県伊達市、福島市、福島県内



## 【継続助成】

## ●一般社団法人 SAVE TAKATA

「被災地における若者定住者創出のための若年無業者支援の専門家育成(2)」  
(育成対象スタッフ 1名/事務局長、農業事業責任者)

### 団体の概要

陸前高田市の復興、発展のために被災者とUIターナーが協働し、「米崎りんごの生産基盤の強化と担い手の創出」「ICTによる情報発信とコミュニティ形成」「若者と市民の交流による若者流入」に関する事業を実施。「地域課題を解決するしくみづくり」を目指している。

### 助成によるスタッフ育成内容と方法

助成1年目は、若年無業者をターゲットとした定住促進の事業を推進するため、専門スタッフとなるべく、「NPO法人育て上げネット」の協力のもと、現場研修を行った。助成2年目は、1年目に組み立てた農業体験を兼ねた自立支援型運転免許合宿プログラムをスーパーバイザーのOJTのもと実行に移し、参加者アンケートなどによる検証も行った。

### 成果と課題

育成対象スタッフ自らの立案によるプログラムの企画と実施、それに伴うチーム体制の強化など、事業の推進とともに、団体内部の体制構築にも成果がみられた。今後は、育成対象スタッフが担当する農業部門が独立することから、本助成により習得した事業推進のノウハウを活かしていく。

・代表者:代表理事 佐々木信秋  
・所在地:岩手県陸前高田市  
・設立年:2011年  
・活動地域:岩手県陸前高田市  
・<http://savetakata.org/>



## ●特定非営利活動法人 浦戸アイランド倶楽部

「浦戸寒風沢コミュニティハウスの管理業務を担う農業指導員の育成（2）」  
（育成対象スタッフ 1名／農漁業プログラムリーダー、事務局長）

### 団体の概要

宮城県の浦戸諸島の中で唯一水田が残る寒風沢島において、津波で壊滅的な被害を受けた農業、漁業の産業基盤の再生のために、自然環境の再生、アグリビジネス、グリーンツーリズム、食育事業などを行っている。

### 助成によるスタッフ育成内容と方法

助成1年目は、島における農漁業を発信するプログラムのリーダーを目指し、グリーンツーリズム・インストラクターの勉強や資格取得のための講座を受講した。助成2年目は、市から受託を予定している島の活動拠点を兼ねた交流施設「ステーション」の開設に向けて、旅行業の資格取得のための勉強や、引き続きグリーンツーリズムに関する講座の受講、外部研修として離島の振興を行う団体訪問を行った。

### 成果と課題

予定していた「ステーション」の事業受託は叶わなかったが、育成対象スタッフのスキルを活かし地元小学校の田植え体験の実施や、東京の大学生のボランティア受け入れなど、実践に結び付けることができた。今後、寒風沢島での事業は縮小となるが、これまで築いてきた協力者のネットワークを活かして、次なる事業展開に結び付けていく。

・代表者:理事長 大津晃一  
・所在地:宮城県塩竈市  
・設立年:2008年  
・活動地域:宮城県塩竈市浦戸寒風沢  
・<http://www.sabusawa.com/>



## ●特定非営利活動法人 ふよう土 2100

「障がい児者家族支援サポートのための専門スタッフ育成事業（2）」  
（育成対象スタッフ 1名／事業所管理責任者）

### 団体の概要

いわき市や郡山市において、障がい児の被災者家族のためのサポート事業や被災地域における体験型のスタディプログラムを行なう。現在は、児童障がい者に対する相談援助、居場所としてのサロン運営、児童デイサービス事業所等の運営を行っている。

### 助成によるスタッフ育成内容と方法

助成1年目は、放課後等デイサービスおよび日中一時支援事業所の立ち上げ計画に伴い、育成対象スタッフの障がい児支援力の向上のためにOJT、外部研修、他の障がい児支援団体への視察を行った。助成2年目は、立ち上がった放課後等デイサービス「がっこ」の中核スタッフとなるべく、マネジメント力強化のための視察研修、就労移行支援等のサービス管理責任者取得に向けた研修を計画した。

### 成果と課題

2017年度に計画する就労継続支援B型事業所の開設にむけて、予定していた就労支援サービス提供管理責任者の資格を取得することができ、子どもたちに対するサービスの幅を広げることができた。なお、2015年12月末をもって当該の育成対象スタッフが休職したため、同時点をもって本育成事業を終了した。

・代表者:理事長 里見喜生  
・所在地:福島県いわき市  
・設立年:2011年  
・活動地域:福島県いわき市、郡山市  
・<http://npo-fuyodo2100.org/>

